

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	でいさーびす あいりんご3		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 25人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎年齢層の近い児童同士の交流 当施設には年齢が近い児童が多く、同年代の子ども同士で自然にコミュニケーションや協力が行われる。これによりに集団行動や遊びを通じて一体感が生まれ児童同士の関係が深まる環境が整っています。	◎多様な障害に対応した活動内容の提供 利用者の障害の程度が様々であるためあらゆる児童に対応できるような活動内容を計画・実施しています。個別のニーズに合わせた活動を提供し全ての児童が安心して参加できるよう配慮しています。	◎個別発達支援プランの強化 利用者一人一人の発達段階に応じた個別支援プランを更に詳細に策定し適切な支援を提供しています。定期的にプランの見直しも行い成長に応じた活動やサポート内容を柔軟に変更する事で児童の発達を効果的にサポートできる体制を強化します。
2	◎異年齢児童間での交流サポート 異年齢の児童同士が積極的に交流し上級生が下級生をサポートする場面が多く見られます。このような協力活動を通じて児童一人一人の社会性や協調性が向上しています。	◎職員間でのフォローと個別サポート 個別にサポートが必要な利用者も多いため職員間でフォローしながら業務を進めています。これにより、より細かな支援が可能となり利用者一人一人に適切なサポートを提供しています。	◎保護者との連携強化 保護者との定期的なコミュニケーションを積極的に行い家庭での様子や児童の成長に関するフィードバックを収集しています。これにより、家庭と施設の支援が一貫性を持ち児童へのサポートの質を向上させる事を目指します。
3	◎障害のある利用者への個別サポート 障害の程度が様々な利用者に対して個別のニーズに応じたサポートを提供しています。適切な支援を通じて、利用者が安心して活動に参加できる環境を整えています。	◎児童の安全を最優先 弊社は、外出活動が多く、強みとなっておりますが外出の時には児童の安全を最優先に考え怪我や飛び出しのリスクに迅速に対応できるよう職員の配置を考えています。また、児童一人一人の能力差に配慮し職員が適切な距離で付き添いながら必要なサポートを提供しています。	◎職員の研修とスキルアップ 職員の専門性を高めるために定期的な研修を実施しています。研修内容には障害に対する理解やサポート技術を向上させるものを含め異年齢交流や個別サポートに関するスキルアップを図りより効果的に児童一人一人に対応できるようにします。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◎バリアフリー化が進んでおらず 身体に障害を持つ利用者や支援する職員が不便を感じる場面が多い。また、施設内の部屋が狭く、利用者が多い場合には動きにくさを感じる事があるため、改善が必要である	◎施設の物理的な構造がバリアフリー化を進めるにあたって予算や工事にかかる時間が大きな障壁となっている。	◎バリアフリー化の計画を段階的に進め必要な改善を優先順位をつけて実施し予算の確保を進める必要がある。
2	◎保護者同士の交流や児童クラブ・町内会との接点が少なく地域社会との繋がりが希薄な状況が見受けられる。	◎地域住民同士の交流機会の不足によりコミュニケーションの場を作るための資源や手段体制が不十分である。	◎地域の保護者同士の交流や町内会との連携強化のため定期的なイベントやコミュニケーションの場を設けることが重要。
3	◎就学前の幼稚園や保育園との情報交換や連携が不足しており子どもの成長における連続的な支援が難しい。	◎就学前施設との連携において異なる教育方針や情報共有の不備が影響しスムーズな移行が難しくなっている。	◎就学前の施設との情報交換を円滑に進めるため定期的な会議やワークショップを設け教育内容や支援方法を共有する仕組みを作るべきである。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 できさーびす あいりんご3

公表日 R7年3月26日

利用児童数 31人

回収数 25人

	チェック項目	回答割合				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	80%	12%	0%	8%	用途に合わせた部屋が何個あったり個別対応もできる部屋もありいいなと思った。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	80%	12%	0%	8%	適切な人数で支援を行ってけている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	72%	16%	0%	12%	障害特性に合わせた設備が整っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	80%	12%	0%	8%	環境整備が行き届いており快適に過ごせていると思う。	今後も毎日掃除の時間を作り、清潔を保ってほしいと思う
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	72%	16%	0%	12%	集団療育、個別療育共に満足いく支援を受けている	作業療法士の職員などからも専門的な知識を吸収しながら今後より一層専門性のある支援をしていきたい。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	72%	16%	0%	12%	支援プログラムがわからない	ホームページに掲載周知に努めていきたい。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	80%	12%	0%	8%	こちらの希望を踏まえた計画書の作成をしてくれている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	76%	24%	0%	0%	項目ごとにしっかりと目標が設定されており支援内容も具体的に明記されている。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	88%	12%	0%	0%	今日はどんな支援をしたか帰りの送迎の際に教えてくれるので安心できる。	どのような計画をしてどのような支援を行っているのかを今後もしっかり伝えるようにしていきたい
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	毎日様々な活動を企画してくれており様々な経験をさせてくれている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12%	16%	8%	64%	分からないが機会を設けてくれていると思う。	放課後児童クラブや児童館との交流はあまりないので今後機会を設けていきたい。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	見学时と契約時に丁寧に説明をしてくださるぜひお願いしたいと思った。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	72%	12%	16%	0%	しっかり説明してくれている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28%	8%	28%	36%	分からないが機会を設けてくれていると思う。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	72%	12%	16%	0%	保護者と密に連絡を取り合い状況の把握をしてくださりしっかり理解してもらっている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	72%	12%	16%	0%	面談の場は設けられていないが相談をした際には親身に聞いてくれる。	今後も送迎時やモニタリング時などで継続的な支援を志していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	72%	16%	0%	12%	気持ちに寄り添った支援をしてくれている。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	28%	8%	28%	36%	分からないが機会を設けて支援してくれていると思う。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	お願い事や相談に迅速に対応してくれたり改善が見られた。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	子どもとの意思疎通はもちろん保護者との情報共有や伝達もしっかりと行っている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	64%	12%	0%	24%	ブログやSNS、連絡帳で日々の様子を発信しており投稿を楽しんでいます。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	92%	0%	0%	8%	個人情報の取り扱いに細心の注意を払っている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	48%	8%	0%	44%	訓練はしてくれているがマニュアルの周知はされていない。	周知に努めていたが徹底できていない部分もあったので今後周知できるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32%	12%	0%	56%	年に何回か避難訓練をしてもらったり、消防署や警察署に見学に行き勉強する機会を作っている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	72%	16%	0%	12%	常に安全を確保している。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	72%	16%	0%	12%	怪我や問題が行った際は迅速かつ確に説明や処理をしている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	92%	0%	0%	8%	話しやすい先生が多く安心して通所させる事ができている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	84%	16%	0%	0%	たくさん活動があり楽しそうに通所している。	今後も通所を楽しみにしてもらえるような活動や支援内容を企画します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	84%	16%	0%	0%	個別療育、集団療育、活動、イベントなど支援すべてに満足している。	今後も利用者様にご満足いただけるようなサービス提供に努めます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		でいさーびす あいりんご3		公表日		R7 年 3 月 26 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	その日の利用人数によって部屋を分けたりと工夫する事によって適切なスペースで過ごせている。	人数配置を意識しながら活動内容によってスペースの使い方を工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	利用児の状態に応じて職員の配置決めを行っている。	引き続き人数配置を意識しながらより良い支援をしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	33%	67%	階段には手すりがあるが玄関がバリアフリー化されていない。	絵カードの作成やスローパーを活用して過ごしやすい環境を作っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	67%	33%	日々、整理整頓を心掛けており毎日掃除の時間がある。	整理整頓を心掛け、清潔を保てるようにしていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	その都度、児童の状況に応じて対応している。	児童からの申し出や状態に応じて適切な環境作りをしていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	日々の申し送りや個別会議などで情報共有ができています。	引き続き申し送りや会議で情報を共有していく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	評価表を基に今後の改善に活かしている。	引き続きアンケートを行い改善しながらより良い事業所にしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎月MTの場や管理者との面談の機会がある。	引き続き定期的に面談を行い頂いた意見を支援に活かしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%	改善する必要がある場合は速やかに対応している。	引き続き改善点は迅速かつ適切に対応していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	定期的な研修を受け他職員への周知、報告書の作成に努めている。	引き続き定期的に研修に参加し、支援に活かしていく。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	支援プログラムを作成し保護者の方へ公表している。	支援プログラムの作成、公表を引き続き行っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリングを行い、ニーズを考えながら職員の意見も取り入れながら作成を行っている。	児童一人一人にあった計画書の作成を引き続き行っていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	職員全員で会議を行っている。	引き続き児童一人一人にあった計画書を作成するために会議を定期的に行っていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	日々の申し送りでどのような支援が必要か支援内容を共有している。	支援内容の共有を日々の申し送りで引き続き行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	日々の様子を記録に残している。	引き続き日々の支援内容の記録をしっかりと残していく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	個々の目標に沿って設定を行っている。	引き続き職員間での情報共有を欠かさず行いながら支援内容を検討していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	毎月、担当者が集まりプログラムの立案を行っている。	引き続き毎月チームで話し合いながら作成していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%	様々な経験ができるように活動内容に力を入れている。	引き続き固定化しないように話し合いながら活動プログラムを組んでいきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	83%	17%	児童のメンバーや状態に応じて日々の支援内容を考えている。	利用児童のメンバーや状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	毎日の申し送りとその日の支援について話し合いを行い共通理解を持つようになっている。	引き続き支援内容や役割分担の打ち合わせを行いチーム一丸となって支援していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後には行っていないが翌朝にその日の支援の打合せを行っている。	引き続き前日の振り返り、情報共有を徹底して行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の様子をサービス確認表に記録を残している。	引き続きサービス確認表に支援の記録を具体的に残していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	しっかりモニタリングを行い必要に応じて計画書の見直しをしている。	引き続き行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	83%	17%	行っている。	引き続き行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	支援内容には本児を選んで決めてもらう内容を含めており自身で考えて行動できるような声掛けをおこなっている。	体制作りを強化していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者が参加してくれている。	引き続き行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	連携体制は整っている。	引き続き行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	しっかり行っている。	引き続き行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	機会は多くないが情報共有と相互理解に努めている。	今後より一層情報共有と相互理解に努めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	できている。	引き続き行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%	地域の児童発達支援センターとの連携は取れないこともある。	今後助言や研修を受ける機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	一緒に活動する機会はないが外出の際に交流する機会は増えた。	放課後児童クラブや児童館との交流との関りが少ないので今後は
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	管理者が参加している。	引き続き行っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎の際にその日の様子を共有している。	引き続き行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	100%	情報提供等を行っているがペアレント・トレーニングなどは行っていない。	家族支援プログラムを取り入れられるようにしていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学・契約時に説明を行っており不明点がないか細かく確認している。	引き続き行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	保護者の方からのニーズを基に作成している。	引き続き行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	一緒に目を通しながら説明を行いサインをいただくようになっている。	引き続き行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	83%	17%	面談の場は設けていないが保護者の方から相談があればその都度、対応している。	引き続き行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	父母の会などのそういった機会はなかった	なかなか保護者会など開催できていないので、今後そういった機会をつくっていききたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	その都度、速やかに対応しており内容についても職員間で共有している。	今後も継続していききたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	連絡帳やブログ・インスタなどで日々の様子を発信している。	今後も継続していききたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報について研修の場も設けており扱いに徹底している。	今後も個人情報の取扱いには細心の注意を払う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	児童のペースに合わせられるように配慮している。	特になし
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%	地域交流を狙いイベントを開き、たくさんの人への来場を促す宣伝活動を行っている。	今後も継続していききたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	訓練は実施しているが保護者へのマニュアル周知するよう努めている。	周知が徹底できるようにしていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	災害に備えて、備蓄品などできる事から取り組んでいる。	引き続き行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	見学・契約時に確認を徹底している。	今後も継続していききたい。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%	アレルギーがある児童には別のものを用意して対応している。	今後も継続していききたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	行っている。	今後も継続していききたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%	安全確保のもと支援を行っていることを家族の方へ周知している	今後も継続していききたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを作成し全職員に共有し検討ができています	今後も継続していききたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、研修も定期的に行われている	今後も継続していききたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%	やむを得ずの身体拘束については、契約時に保護者の方へ事前に説明をしている	今後も継続していききたい。	